

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	地域研究(ロシア)	2	末澤 恵美	
平成25年度以前	地域研究(ロシア) I	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):地理学(地誌を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				言語
<p>ロシアは、アジアとヨーロッパにまたがる「ユーラシア国家」として独特の歴史を歩み、独自の文明を形成してきました。それだけに国際政治の舞台でしばしば他国と異なる立場をとり、日本人にとってはわかりにくい国のひとつになっています。この授業では、ロシアとその周辺地域について、歴史的流れの中で把握し、それによって世界史や国際政治の理解を深めることを目標とします。</p>				共通
授業の概要				専門基礎
<p>最近ロシアとの対立が問題になっているウクライナの首都キエフは、ロシアのルーツとも言える場所であり、チェチェン紛争も北方領土問題も歴史的背景なくして理解する事は困難です。また、ロシアは帝国から革命によって世界初の社会主義国「ソヴィエト社会主義共和国連邦」となり、その超大国ソ連も1991年に崩壊するという大変動を経験しました。この授業では、こうした流れとその背景を、時事的な問題を織り交ぜながら説明していきます。</p>				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回: ロシアとは(地理、言語、宗教、文化的特徴等) 第2回: キエフ・ルーシとビザンティン帝国 第3回: ロシア帝国の近代化と領土拡大 第4回: ロシア革命とソヴィエト社会主義共和国連邦の誕生 第5回: 社会主義国家ソ連の政治体制 第6回: ソ連における民族問題 第7回: ソ連外交と冷戦 第8回: 東側陣営の実態 第9回: ゴルバチョフのペレストロイカ(改革) 第10回: チェルノブイリ原発事故とグラスノスチ(情報公開) 第11回: 歴史の見直しと共和国の独立運動 第12回: 新思考外交と冷戦の終結 第13回: 東欧革命 第14回: クーデターからCIS(独立国家共同体)創設、ソ連邦崩壊へ 第15回: ソ連邦の崩壊と新生ロシア</p> <p>【履修上の注意事項】 西洋史や国際政治等の授業をあわせて履修することで、より理解が深まります。</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
特になし。授業においてレジュメ・資料を配布します。				25年度以前 政治行政コース
参考書・参考資料等				
原卓也監修『読んで旅する世界の歴史と文化—ロシア—』新潮社、1994年 栗生沢猛夫『ロシアの歴史』河出書房新社、2010年 塩川伸明『国家の構築と解体』岩波書店、2007年 藤本和貴夫、加藤一夫編『ソ連・東欧の体制変動』インパクト出版会、1991年 ほか				
学生に対する評価				
授業態度等の平常点及び試験の総合評価(出席3回以下の者は受験資格なし)				